

燃料電池フォークリフト普及等に向けた導入実証事業

<実証概要>

水素利活用促進の1つとして、水素を燃料とするフォークリフト「燃料電池フォークリフト (FCFL)」を活用した実証を実施しています。今年度は、長田野工業団地（福知山市）において、水の電気分解により水素を製造し、移動式水素ステーションによって、FCFLを試験的に利用いただく企業5社に巡回供給しました。

期 間：令和5（2023）年12月15日～令和6（2024）年3月15日

場 所：長田野工業団地（福知山市）

参加企業：SECカーボン株式会社（マザーサイト兼ドーターサイト※）

サンキン株式会社（ドーターサイト）

三和ハイドロテック株式会社（ドーターサイト）

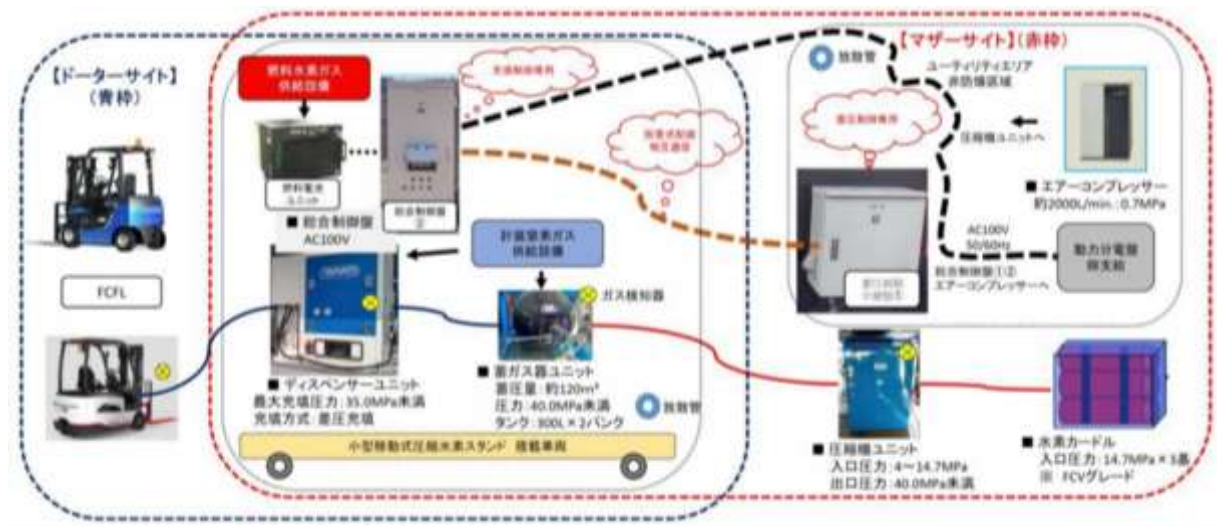
タツタ電線株式会社（ドーターサイト）

一般社団法人日本血液製剤機構（ドーターサイト）

※マザーサイト：水素を製造する設備を設置するところ

※ドーターサイト：FCFLを活用するところ

<仕組み>



<実証の写真>



移動式水素ステーション



FCFLへの充填

<成果と課題>

実証に参加した企業からは、水素の安全性やFCFLの利便性等について確認することができたという声をいただいています。FCFLは、バッテリー式と比較して、「充填時間の短さ（約5分）」や「パワーがある」といったメリットがあります。

一方、近隣に水素充填インフラが必要なこと、また、製品自体の価格も通常のフォークリフトの3~4倍と高いことから、導入に至りにくい状況です。府としては、実証を踏まえ、水素充填インフラや水素関連機器が普及するための支援策を検討してまいります。